

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二 選

様々な人との縁にし胸に秘め仮設の家に別れを告げぬ
安永 川野 光子

人住まぬ家の庭にもさるすべり華やぎおれば人の気配す
安永 山下たか子

震災で先の見えない去年の夏思い出しては涙にじみ来
宮園 金子フム子

赤々と日の丸のよう沈む陽に帰る子供等長く染まりて
小谷 今吉マキ子

上向きに熱気帯びつつ夏の夜を再び三つの月下美人咲く
安永 守住 孝子

照りつくる日射しの中に赫々と百日紅は青空に映ゆ
安永 福田 圭子

猛暑日に窓より見ゆる船野山みどり濃くして微動だにせず
宮園 島 みつき

夏が来て一年過ぎし震災の庭にヒヨドリ子三羽孵す
古閑 井上てつ子

愚痴こぼし鏡の前で百面相化粧する妻もはや更年期
赤井 増岡 伸禧

列島を舐めるが如くノロノロと台風進む被害を広げて
広崎 松原まゆみ

俳句

河野 全平 選

百日紅恩師の安否気遣えり
木山 山口サツキ

エイと蹴り落るクワガタ待つ親子
木山 今吉美美江

盆をどりそろいの浴衣孫笑顔
古閑 井上てつ子

秋団扇雨降らすらし阿蘇の山
馬水 西田 正己

ピッチャーの腕の撓に汗がとぶ
赤井 鈴木 駒

庭芝に鳴く虫の音に目覚めたり
広崎 松原まゆみ

青みかん夕焼映える地震の町
小谷 今吉マキ子

明月や我が家の庭のビヤガーデン
赤井 増岡 伸禧

爽やかに少年泣けり甲子園
平田 城 陶子

蝉しぐれ亀裂のままの碑をなぞる
田原 辻ヶ峰子

一句鑑賞
つばくろや崩壊の軒去らざりし
佐藤 澄世

狂句

田上 富岳 選

まてまて 外堀埋めにゃ落ちやせん
赤井 増岡 酔粹

まてまて 守ろうルール我が為ぞ
辻の城 岸良真由美

まてまて ぐっと飲み込みもう言わん
古閑 井上てつ子

まてまて 甘い話にゃ裏がある
広崎 松原まゆみ

まてまて 一二の三で飛ぶばいた
木山 今吉美美江

まてまて お足はいらぬ持ていきな
赤井 鈴木 駒

よしきた 竿が一気に沈みよる
小谷 まさのり

よしきた いんま見とれよオレのうで
宮園 井藤 吉郎

よしきた 一旗上げてやろうかあ
江津 高田美佐子

よしきた 主のためなら三肌脱ご
馬水 西田 正己

狂句次号の課題「たから箱」行き渡らぬ」

益城の文化財 町文化財保護委員会



下 陳

奥村の地藏堂

「奥村の地藏堂」は、町立津森小学校から南へ約400m、上陳と下陳の境(下陳の入口)にあります。小さな堂宇内には「地藏尊像」が安置され、堂の外には鎌倉・南北朝と推定される五輪塔やその残欠が数基置かれています。

1202年に記された古文書記録によると、平安末期に開基された「石川の寺」の名前があります。現在、その寺跡は不明ですが、地藏堂を有する大寺院が「奥村の地藏堂」周辺にあったのではないかと推定されています。五輪塔やその残欠もそれと関係があるのかもしれない。また、この付近一帯は湧水に恵まれ、水田も広がり、早くから拓けていた地ではないかと推察されます。なお、町指定文化財の「龍池山千光寺の木造千手観音菩薩立像」も、元はこの「石川の寺」にあったのではないかと考えられます。

以前の堂宇は南向きだったそうです。

先月号の「益城の土蜘蛛伝説」の地区に誤りがありました。正しくは次のとおりです。(誤)下陳→(正)福原